



# 翁島小学校だより

第1号 H29. 4. 14発行 文責：校長 星 善樹

## ◎ ご入学おめでとうございます！！



平成29年度 翁島小学校 入学児童・保護者 集合写真  
平成29年 4月6日(木)

4月6日(木)、暖かな日差しの中、元気な新入生10名(男子6名、女子4名)を迎え、第2学年に転入生1名を迎え、全校生62名で平成29年度がスタートしました。

入学式では、心の中に「がんばりの花」「思いやりの花」を咲かせ、勉強や運動等なんでも頑張ろう、だれとでも仲良くして楽しい学校生活にしようという話をしました。2年生からは、学校生活について分かりやすい説明がありました。多くのご来賓の方々や保護者の方々に見守られ、あたたかな雰囲気の中入学式が行われました。

おあずかりした子供達は、地域の宝です。この子供達のすこやかな成長を学校・保護者・地域が一体となって見守っていきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。

## 今年度の職員です！子供達のために頑張ります！

校長 星 善樹  
(田村市立瀬川小学校より転入)

教頭 今泉 章

教務主任 渡辺 秀一

1年担任 渡部 久枝

(猪苗代町立長瀬小学校より転入)

はかせ学級担任 五十嵐和昭

2年担任 大堀加代子

3年担任 浅井 康文  
(湯川村立勝常小学校より転入)

4年担任 栗田 幸子

5年担任 長谷 淳

6年担任 大桃 美紀

養護教諭 泉館 歩美

主査 島田 勉

学校支援員 田中 昭子

用務員 喜多見由美

(猪苗代町立吾妻小学校より転入)



## ◎本年度の翁島小学校は、こんな目標でがんばっていきます。

本年度の翁島小学校の重点目標は、以下の3つです。

### ○ 楽しく学んで確かな学力

- ・主体的に学び進んで学習に取り組む授業 ・家庭学習の習慣化
- ・よりよい読書習慣の育成 ・各種コンクール参加

### ○ 明るくのびのび豊かな体験

- ・道徳教育の充実 ・助け合い異年齢集団の育成
- ・自然体験活動の充実 ・積極的な生徒指導の推進
- ・猪苗代支援学校(旧名称;猪苗代養護学校)、坂小などとの交流学习

### ○ 元気な心と体で笑顔満開

- ・年間を通した体力づくり ・健康習慣の育成
- ・安全指導の徹底(学校事故 0) ・家庭、地域との連携



## 桜から学ぶこと ～志村ふくみさんの言葉を通して～



猪苗代の桜は、もう少し先になりますが、今年も各地から桜の便りが聞かれる季節になりました。私たち日本人にとって桜の花というのは特別なものです。この桜の花について、興味深い話があります。

京都に「志村ふくみ」という染色家があります。紬織の重要無形文化財保持者(人間国宝)であり、随筆家でもあります。草木染の糸を使用した紬織の作品で知られる方です。この方は、桜を使ってきれいな淡い、匂い立つような桜色を染め出します。桜を使って桜色を染め出すと聞くと「あ～あ、桜の花びらや蕾を煮出して染めるのだな。」と考えてしまいがちですが、桜の花びらや蕾からは、あの美しいピンク色は出ないそうです。それならば、どのようにして…。実は、黒くごつごつした樹皮や枝を使います。それも、いつでもよいというのではなく、花が咲く前の枝や樹皮でなければなりません。春に咲く桜の花芽は、前年の夏に形成されます。その後、開花することなく「休眠」という状態になります。そして、秋から冬にかけて一定期間、低温にさらされ、再び暖かくなるころ眠りからさめて開花の準備を始めます。桜の花にとって、四季のはっきりした日本の気候は最適なものであり、常夏の国では日本のような美しい桜は咲きません。桜は、まさに四季のある日本の国で特化した植物だといえることができます。そして、桜は、あの美しい淡いピンクの花を一年に一度咲かせるために、幹を含めた全身で花びらの色を生み出しているということです。ですから、桜が開花する直前には、桜の木の内面は、全身がピンクを作り出す色に染まっているということです。桜の花びらは、それが表出したものです。

この話を聞いて、学校も同じだなと思いました。学校も毎年毎年「こんな子どもにしたい。」「こんなことができる子どもに育てたい。」という目標を立てます。まさに桜の木があのような美しいピンク色の花を咲かせたいと思う気持ちと一緒に。そして、それを実現するには、やはり桜の木のように全身で、学校でいうならば、全教職員が同じ思いで、同じ方向性をもって全力を注いでいく必要があります。そんな「翁島小学校」を目指して、これからも努力していかなければと思います。

